

2014年6月5日

石峰寺山野手町町内会の皆様
お地蔵様・茶碗子の井戸ゆかりの皆様

町内会長 前川 覚

お地蔵様と茶碗子の井戸 入魂・竣工式 ご 報 告

早くも夏を思わせる気候となりましたが、皆様ご健勝にてお過ごしのことと存じます。
お地蔵様と茶碗子の井戸の改修工事は無事完成し、6月1日（日）季節外れの猛暑ではありましたが、多くの方々の参列を得て、入魂・竣工式を行うことが出来ました。
新しいきれいな地蔵堂ができあがり、由緒ある茶碗子の井戸が復旧でき、町内にすばらしい史跡と憩いの場が生まれましたのは、町内の皆様や地域の方の温かいご支援、ご協力のおかげであり、心からお礼申し上げます。

式当日は、地蔵堂と井戸の除幕、小学6年生2人による井戸水初汲み上げ・お清め散水、石峰寺住職様による入魂式、町長挨拶、深草を語る会や府市の課長様の祝辞の後、祝賀会に移り、先ず青葉子ども会によるすばらしい祝典曲合奏があり、会が盛り上りました。引き続き、箏曲の演奏を聞きながらの野点のお茶会が催されました。着物姿のかわいい小学3年生が一番茶をお地蔵様にお供えをし、その後、町内女性陣のおもてなしにより、お抹茶が振る舞われ、町内外の多くの方々が紫陽花をかたどった茶菓子とお茶を楽しみ、歓談、交流を深めました。

祝賀会には京都市長が飛び入りで来てくださいり、ご挨拶をいただき、町内会が一致団結して井戸を復旧し、お地蔵様をお守りしていることに対し、地域活性化のモデルケースとして賞賛していただきました。また、他の町内の方々も、石峰寺山野手町の町内会の結束、協力、チームワークの良さを強く感じられたようです。

本事業は単に地蔵堂と井戸の改修にとどまらず、本事業を通じて町内の方々が交流し、協力し合い、子どもたちに地元の誇りと伝統を伝える機会となりました。また町内には種々の能力、特技、趣味をお持ちの方がおられる楽しい地域であることが解かりました。今後とも、町内はもちろん、地域の方々との交流を深め、助け合い、住みよい地になることを願っています。

